

ぶっせい

No. 5

第2回法話学習会

法話を考える

2018年9月28日、吉崎別院副
輪番の波戸章氏をお招きし、第1回の
学習会で出た意見をふまえ、波戸氏が
座長となり座談会を行いました。

波戸氏は、以下の5つのテーマで進
行されました。

- ①何故、僧侶になったのか。
今、僧侶に求められているものは。
- ②伝道（布教）には、
法話（説法）と声明がある
- ③「法話は仏徳讃嘆と信仰告白です」
亡き師・立野義正（高岡教区）
- ④告白の仕方
（告白とは相手が存在すること）
- ⑤その他・同朋会など

これ以外に、波戸氏の言葉で印象深
かったのは、

- ・「なぜ法話をしているのか」という問
いかけ。
- ・自分の法話を録音し、聴いてみる。
（内容と同時に伝え方も大事）
- ・仲間の僧侶の法話を聞く。

などです。一人ひとりが、「法話を考え
る」ことを通して、自らの生き方を問い
直すきっかけとなりました。



連続公開学習会

お坊さんって？

2019年の3月から6月まで、月
1回の連続公開学習会を行いました。
小松仏青では、これまで様々な学習
会を行ってきました。そして、「僧侶と
はなにか」という問いが生まれました。
学んで終わりではなく、「僧侶としてな
にをするのか」、4人の若手僧侶が、自
坊や教務所を会場にお話しました。



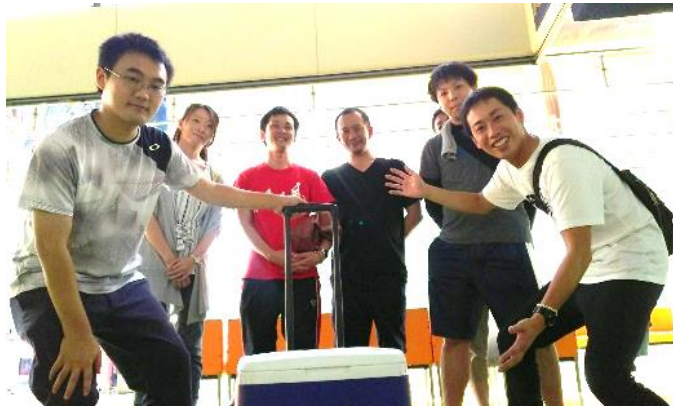
第1回は、和楽賢章（小松仏青会長・
行善寺住職）。第2回は、面俊（小松仏
青副会長兼会計・本覚寺役僧）。第3回
は、佐竹融（小松仏青前会長・光玄寺
若院）。第4回は、松永悠（小松仏青事
務局・長圓寺若院）。

4人がそれぞれの思いを語りまし
たが、共通していたのは、教える側に
立つのではなく、苦悩のなかで共に聞
法していききたいとする姿勢でした。

お話の後は座談会を行いました。「仏
教とはなにか」、「僧侶やお寺、仏事は
どうあるべきか」、「社会と仏教との関
係」などの話題になったり、日頃の悩
みなどを語り合ったりしました。参加
者のご門徒と僧侶が、意見を出し合っ
て、共に考えることができました。

北陸連区

ソフトボール大会



2018年度の北陸連区ソフトボール大会は、お隣の富山市での開催となりました。台風の影響により、種目をボーリングに変更し、開始時間には天気も回復したため、各教区揃って競技に臨むことができました。

また、本年度の会場は小松、加賀となつているので、皆さんに楽しんで貰えるような大会にしたいと思っております。

仏青報恩講

2019年の2月6日、仏青報恩講と座談会を行いました。それぞれが力いっぱい声を出し、一体感のある勤行でした。あらためて、共に聞法する身であることを感じました。

座談会のテーマは、紙に一人ひとりが座談したいテーマを書き、それをくじ引きで決めていきました。今年のテーマは、「新幹線」「今年の抱負」「いのちについて」でした。

一回一回の法務で、一人のひとと丁寧に向き合っているのか。日頃のあり方が常に問われているからこそ、こうして悩みを抱えたもの同士が語り合うことが大切だと感じています。



同朋新聞を読む会

人の集える場がほしいと思い、2018年の7月からスタートしました。

『同朋新聞』を読みながら、気になったことや日頃の悩みなど、ゆったりと語り合っています。興味のある方は、お気軽にご参加ください。

日時 毎月第一日曜日

午後7時半〜9時

会場 光玄寺（小松市串町）

施設法話

小松仏青では、かねてより介護老人福祉・保健施設のご依頼を受け、仏青会員を中心に派遣し、お参りと法話をさせていただいています。

湯寿園

第3火曜日 午後2時半

グリーンポート小松

第3水曜日 午後2時15分

レイクサイド木場

第3木曜日 午後2時半

フェイスブック やってます！

活動のお知らせや、報告をしています！
ご覧になりたい方は、『小松仏青』で検索か、右のQRコードを読み取りください。

